

第 22 回日米知事会議の概要

(附 訪米視察日程等)

平成 6 年 (1994 年) 11 月 14 日～25 日

全 国 知 事 会

写真あり

11月14日（月） 全米知事会主催ディナー（ワシントンD. C.）

写真あり

11月15日（火） ボーカス上院議員と会見（ワシントンD. C.）

写真あり

11月15日（火） ゴア副大統領表敬（ホワイトハウス）

写真あり

11月15日（火） ホワイトハウスにて

写真あり

11月16日（水） ケーパートン・ウエストバージニア州知事と会見
（ウエストバージニア州チャールストン）

写真あり

11月16日（水） ブリッジビュー小学校視察

（ウエストバージニア州チャールストン）

写真あり

11月17日（木） 日米知事会議 鈴木団長挨拶

（ウエストバージニア州ホワイトサルファスプリングス）

写真あり

11月17日(木) 日米知事会議(ウエストバージニア州ホワイトサルファスプリングス)

写真あり

11月17日(木) アレン・バージニア州知事と会見

(ウエストバージニア州ホワイトサルファスプリングス)

写真あり

11月18日（金） バージニア州経済開発部長主催昼食会（バージニア州リッチモンド）

写真あり

11月19日（土） バージニア・日本協会、メトロポリタン・リッチモンド経済
開発友好協会主催カクテル・ディナー（バージニア州リッチモンド）

写真あり

11月21日（月） ウォーカー・ユタ州副知事主催ディナー（ユタ州ソルトレイクシティ）

写真あり

11月23日（水） ワイヘエ・ハワイ州知事と会見（ハワイ州ホノルル）

は し が き

鈴木俊一全国知事会会長（東京都知事）を団長とする全国知事会代表団は全米知事会の招聘で、平成6年（1994年）11月14日から25日までの間米国を訪問した。

代表団一行は米国滞在中、ウエストバージニア州で開催された第22回日米知事会議に出席したほか、ワシントンD. C. で米国副大統領を表敬訪問、さらにウエストバージニア州、バージニア州、ユタ州及びハワイ州の各州を訪問し、各地で知事等関係者との会見、各種施設の視察をするなど、日・米両国国民の相互理解と友好関係の一層の親善に努めた。

特に、11月17日の日米知事会議では「社会福祉－高齢者のニーズ等」について出席した両国の知事から各方面にわたる意見が出され、両国がともに現在直面している大きな課題の解決策を模索しているという状況が鮮明にされた。

本報告書は、この第22回日米知事会議の概要を報告するとともに、各州各地での視察等を概略取りまとめたものである。

なお、今回の訪米に関連し、種々ご配慮をいただいた日米両国の関係の方々に深く謝意を表する次第である。

目 次

1 全国知事会訪米代表団名簿	1
2 第22回日米知事会議の概要	2
(1) 会議次第	2
(2) 会議出席者	3
(3) 開 会 (全米知事会会長)	4
(4) 訪米代表団団長挨拶・団員紹介 (鈴木団長)	4
(5) 討議概要	5
(6) 共同声明 (大阪府知事)	13
(7) 閉会挨拶 (鈴木団長、全米知事会会長)	14
(附)	
1. 訪米視察日程	19
2. 全米知事会同行者・通訳	26
3. 米国地図	27
4. 米国訪問州の概要	28
5. 姉妹提携状況	29

1 全国知事会訪米代表団名簿

団 長	東京都知事（全国知事会会長）	鈴木 俊一
		(同夫人 敦子)
	福島県知事	佐藤 榮佐久
		(同夫人 洋子)
	群馬県知事	小寺 弘之
	大阪府知事	中川 和雄
	岐阜県副知事	篠田 伸夫
	宮崎県副知事	中里 清敏
随 員	全国知事会事務総長	砂子田 隆
	〃 国際部参事	田中 裕
	東京都総務局知事室秘書	藤田 裕司
	〃 S P	川崎 信
	福島県総務部秘書課秘書	堀切 伸一
	群馬県総務部秘書課秘書係長	横尾 恒夫
	大阪府秘書課長	今川 日出夫
	〃 総務部財政課主幹	南部 英幸
	〃 企画調整部国際室職員	内藤 能
	岐阜県企画部企画調整課長	おおむら 慎一
添乗員	近畿日本ツーリスト（株）	
	虎ノ門海外旅行支店	野田 洋介

2 第22回日米知事会議の概要

(1) 会議次第

1 開会

2 開会挨拶（全米知事会会長）

3 全国知事会訪米代表団団長挨拶 団員紹介

（ 昼 食 懇 談 ）

4 討議

(1) 討議テーマについて「社会福祉－高齢者のニーズ等」

(2) 意見交換

5 共同声明提案

6 閉会挨拶

7 閉会

(2) 会議出席者

〔日本側〕

東京都知事（団長 全国知事会会長）	鈴木 俊一
福島県知事	佐藤 栄佐久
群馬県知事	小寺 弘之
大阪府知事	中川 和雄
岐阜県副知事	篠田 伸夫
宮崎県副知事	中里 清敏
全国知事会事務総長	砂子田 隆

〔米国側〕

バーモント州知事（全米知事会会長）	ハワード・ディーン
ワシントン州知事	マイク・ローリー
ユタ州知事	マイク・リービット
ウエストバージニア州知事	ガストン・ケーパートン
マサチューセッツ州知事	ウイリアム・ウエルド
アーカンソー州知事	ジム・ガイ・タッカー
インディアナ州知事	エバン・バーイ
ニューメキシコ州次期知事	ギャリー・ジョンソン
全米知事会常務理事	レイモンド・シェッパク

(3) 開会

ディーン会長（バーモント州知事）

ただ今から日米知事会議を開催致します。
まず、鈴木会長からご挨拶を頂戴致します。

(4) 訪米代表団団長挨拶・団員紹介

鈴木会長（東京都知事）

私は、日本の全国知事会会長を致しております、東京都知事の鈴木俊一です。今回お招きに与り米国に参りました全国知事会代表団の団長として、日米知事会議の開会にあたり一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

初めに、今回の訪問が貴国中間選挙の直後であり、会議の準備にあたり、関係方面との調整にいろいろとご苦労頂いたことにつきまして、ディーン会長、シェック事務総長はじめ、事務局、関係者の方々に深く感謝の意を表したいと思います。

また、私ども日本知事団を心温かくお迎えいただき、本日のこの知事会議のため環境の整ったすばらしい場所をご提供いただきましたガストン ケーパートン・ウエストバージニア州知事さんに対し、心から厚くお礼申し上げます。

本日、ご出席の中で、選挙において再任された知事さん方、また、新たに当選された知事さん方には心からのお祝いを申し上げます。それぞれの州の代表として、今後一層のご活躍をお祈りいたします。

さて、日米の地方行政には、権限や守備範囲など、いろいろ異なるものがありますが、この伝統ある日米知事会議は、相互理解を深める上で、特に意義深いものと考えており、本日、このように参加できましたことを光榮に思います。

本日の議題「社会福祉」は、米国側から提起されたものでありますが、両国において緊急に対応をせまられている共通の課題であるばかりでなく、地方行政にとりまして最重要のテーマでもあります。

とりわけ、今日の日本においては、急速に進む高齢化社会への対応と、少子化時代を迎えて明日を担う子供達の健全育成が重要な課題となっております。この意味からも本日の議題は誠に時宜を得た素晴らしいご提案であり、この会議が両国共通の諸問題の解決のた

めに大きく役立ち、さらに、両国国民の相互理解と友好関係を深めるために大きな成果を収めることを期待しております。

ここで、日本側の出席者をご紹介します。

大阪府知事の中川和雄さんです。昨年、日本の全国知事会に設置した、国際化問題特別委員会の委員長にご就任頂いています。この9月にオープンした日本で初めての本格的な24時間空港である関西国際空港の地元知事さんです。

福島県知事の佐藤栄佐久さんです。参議院議員として大蔵政務次官などを務められ、国政の場で活躍された後知事にご就任になりました。日米知事会議には前回に引き続いてご出席いただいております。

群馬県知事の小寺弘之さんです。豊かな自然の下に農林業や、高付加価値の産業振興に尽力され、また、県の群馬交響楽団がこの5月に欧州講演を成功させるなど、文化行政にも力を注いでおられます。スペースシャトル「コロンビア号」に搭乗した向井千秋さんは群馬県出身です。

岐阜県副知事の篠田伸夫さんです。宮崎県副知事の中里清敏さんです。両副知事は、地方行政のエキスパートとして、永年にわたり、住民福祉の向上に貢献しておられます。

全国知事会事務総長の砂子田隆さん、随員の全国知事会国際部の田中参事です。

以上で私のご挨拶と日本側のご紹介を終わります。

(昼食懇談)

(5) 討議概要

ディーン会長

高齢化は日米のすべての州、県に共通した問題です。現在65歳以上の高齢者が増加してきていますが、この人たちは所得が少なく、従って納める税金も少ない。しかし、様々なケアが必要になり、それとともに家族やまわりの人たちのサポートが必要になってきます。また、65歳以上の人口とともに、85歳以上人口も急速に増加しつつあり、医療のための予算額が増加しつつあります。

そこで、医療、福祉、雇用、住宅、移動手段など高齢化社会のニーズにどのように対応するかについて話し合っていきたいと思います。

また、米国では長期にわたるケアが必要な高齢者は施設に収容されていますが、日本のコミュニティ、特に家庭における高齢者ケアの経験をお聞きして参考にしたいと思います。

その他、エイズ患者に対する介護なども含めてディスカッションしていくことにします。

鈴木会長

東京都の社会福祉の現状と課題について、高齢者福祉の分野を中心にお話いたします。

わが国の高齢者人口比率（総人口に占める65歳以上人口の比率）は、本年8月に14%を超えたと推定されております。一般に高齢化社会の入口と言われている7%に達したのが1970年であり、24年間で比率が倍増いたしました。欧米諸国に比べ、高齢化のスピードは著しく速いものがあります。将来的にも、例えば高齢化のピークをむかえる30年後（2025年）には、25.8%という世界的にもまれな、高齢化社会となることが予想されています。

この趨勢は、首都東京においても変わらず、本年1月の高齢者人口比率は12.3%、30年後には25.0%と予測されています。

このような高齢者の増大は、一方で年金、医療など社会保障制度の費用の増大をもたらすと同時に、介護を必要とする高齢者やひとりぐらしの高齢者の増加を意味します。こうした状況のなかで、女性の社会参加や核家族化が進むことなどによって、これまで家族が持っていた介護の機能が低下しつつあり、介護を必要とする高齢者やその家族を、社会サービスで支援することがますます強く求められています。

このように、高齢者問題への対応はわが国においても、また東京都においても最も重要な課題となっています。

こうした高齢者問題等に対応するため、東京都は1991年に「東京都地域福祉推進計画」を策定し、ホームヘルパーや特別養護老人ホームなど社会サービスの整備目標を定め、全力をあげてこれに取り

組んでいます。

この計画は高齢者や障害者は、すべての都民が住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らすことをめざして、福祉をはじめ、保健・医療、住宅、まちづくりなど、関連施策を総合化した地域福祉を計画的に推進しようとするものです。こうした地域福祉の計画は、東京都の支援を受けて、住民に最も身近な基礎的自治体である区市町村や、地域の民間福祉団体である社会福祉協議会でも策定し、東京都と一体となって地域福祉推進に取り組んでいます。

地域福祉を推進する主体は区市町村ですが、同時に地域の社会福祉協議会、住民団体、ボランティアなど様々な構成員が、積極的に地域福祉の推進のため参画していくことが、真の地域福祉を構築していくために必要不可欠です。都内には、すでに様々な住民の福祉活動をみることができます。

また、人生 80 年時代を迎え、これからは、いかに老後を健康で充実した実りあるものとしていくかが大切です。東京都では、元気で、活発に社会参加していこうとしている高齢者の就労や生きがい活動を支援していくため、区市町村の「シルバー人材センター」を支援して、働く意思と能力を持った高齢者が、豊かな能力・知識・経験を発揮して活動できるよう努めるとともに、この 10 月には、都民や企業、関係団体等の参画と協働により、明るいきいきな長寿社会を実現する基盤づくりを行なうため、「東京いきいきライフ推進センター」を設立いたしました。今後、高齢者の生きがい対策はますます重要になっていくと思われま

す。終わりに、本格的な高齢社会を迎えるにあたって、保健・医療、住宅、労働、教育、都市計画など、社会のあらゆる分野に福祉の視点を取り入れられ、社会のすべての活動や社会構造に福祉的配慮が行き渡った社会にしていくことが、今後最も重要な課題になっていくものと考えます。

ガイ・タッカー アーカンソー州知事

鈴木都知事のご発言を興味深く拝聴しました。将来に向けたチャレンジが実を結ぶことと思います。同様にわが国の州においても高齢者人口が増加しつつあり、更に施策を強化して行く必要があります。

す。

第一に、高齢者に対する医療を充実するために、医療制度を更に整備することです。

第二に、高齢者の安定した生活を確保するための社会保障制度を整備することです。

私には4歳の子供がいます。私がサポートを必要とする年齢になる2020年には、高齢者問題は私自身の問題ではなく、高齢者を養うために税金を負担しなければならない子供たちの世代の問題だと考えられます。

米国では、次の3点が焦点になっています。

- 1 医療制度改革の遂行
- 2 社会保障制度の長期的な健全性の維持
- 3 社会福祉を必要とする年齢に達する人々の期待の管理

子供達の世代にはもはやこれらの制度を維持していく能力も、自らの生活の質を維持していく力もないことを認識した上で、彼らに追加的な負担を強いることなく対応する必要があります。高齢化するにつれて、若いときの支出能力を維持できなくなります。高齢者人口が増大するとともに、個人的責任、家庭的責任について再考しなければならなくなってきました。

社会が高齢化するなかで、税負担の伸び悩みを解決するためには財源が必要ですが、それを確保するための経済発展の原動力である技術進歩がなくなります。即ち、高齢者を支える経済的基盤がなくなると思います。

佐藤 福島県知事

高齢化問題を考えるに当たっては、医療費の問題を避けてとおることはできません。我が国の公的医療保険制度は、1961年に国民が国民健康保険などいずれかの医療保険に加入する皆保険体制となり、その後様々な制度改正はありましたが、基本的には誰でも手軽に医療を受けることができるわけです。

しかし、人口構成の高齢化に伴い年々医療費が増加しており、大きな問題となっています。従って、今後は、自助と扶助のバランスをいかにすべきかが緊急に解決しなければならない課題であると考え

えています。

貴国の医療保険制度には、公的には低所得者層を対象とするメディケイドと高齢者を対象とするメディケアがありますが、その適用条件や適用範囲は非常に厳しいと聞いております。

また、医療保険制度の改革は、貴国において大きな論点になっていると聞いており、国情の違いはあるものの、貴国の医療保険制度が今後どのように進むのか関心を持って見守っていきたいと考えています。

高齢者が生きるまちの問題ですが、日本では「やさしいまちづくり」に力を入れています。昨年カリフォルニアで障害者福祉制度を視察する機会がありました。障害者を隔離するのではなく、「共に生きる社会の創造」というノーマライゼーションの理念が浸透している状況を目の当りにして、次の点に感銘を受けました。

第一点は、障害を理由とする差別を撤廃し、障害者の社会参加を保障する法律の存在です。障害者が社会生活を営むための障害は社会が取り除くべきであるという ADA 法の存在です。

第二点は ADA 法の精神を体現したバークレー自立生活センターや、企業として ADA 法に取り組もうとしているバンクオブアメリカなどを訪問して、実際に ADA 法の精神が実践されているという実例に接したことです。

このようなノーマライゼーションの精神の浸透については、アメリカを手本にしていきたいと考えています。

小寺 群馬県知事

時間が少ないのが残念ですが、二つのことを申し上げたい。

第一点は、高齢化社会になるということは、今までの社会運営のシステムを変えていかなければならないということだと思います。例えば、65歳になったら社会からリタイアするという観念は改めるべきではないでしょうか。もともと人間が農業を営んでいたときには、リタイアということはありませんでしたが、近代的なビジネスの社会になるとリタイアせざる得なくなりました。70歳でも80歳であっても、区切るということを弾力的にすべきではないでしょうか。そうすることによって、雇用を広げるべきです。高齢化社会になる

ということのマイナス面だけを考え過ぎるのはよくないと思います。

第二点は、哲学的ですが、老人に対する評価をどうみるかということ。老人を保護の対象として、社会から取り残されていると見るか、経験豊富な人として尊敬の対象として見るかということ。す。

日本、東洋の社会では高齢者に対する尊敬の念が高い。老人と若者とでは老人に対する評価の方が高いのです。例えば「老」。徳川幕府の大臣を「老中」といい、総理大臣を「大老」といいました。つまり、「老」に対して積極的な評価があるわけです。

我々が子供の時のおとぎ話でも、おじいさんが枯木に花を咲かせるというようなものがあり、老人を尊敬の対象として考えていました。この考え方がすぐ現実的な政策と結び付くとは考えませんが、政策の基本的なところでこういった考え方がないと、すべての人間を人間として適切に評価することができないと思います。

篠田 岐阜県副知事

岐阜県においては、保健・福祉サービスの対象となる高齢者は、高齢者全体の10.8%を占めています。逆にいうと90%のお年寄りは大変元気だということです。これらの人々に、生き生きとした老後を過ごしてもらうことは大切なことだと考え、岐阜県では「生きがい長寿財団」というものをつくっています。そこで「生涯青春のすすめ」という本を出しています。音楽、おしゃれ、健康、ふれあい、という四つのキーワードで、若さを保ってもらおうとしています。

県ではお年寄りのファッションショーを開いたり、スポーツのユニフォームをコンテストでつくるということもやって、皆さんに喜ばれています。特に音楽については、痴呆症の処遇方法としても注目されている、音楽療法（ミュージックセラピー）の積極的な導入を図っており、公立施設としては全国初の音楽療法研究所を今年4月に設置しました。日本が得意とするカラオケを楽しんでもらいながら、痴呆症が進むのをおさえていこうとしています。

岐阜県は東京や大阪といった都会と違って持ち家率が高く、家族の介護が期待できますが、特別養護老人ホームが少ないことから、

お年寄りの1.1%に相当するベッド数の施設をつくる必要があると
考えています。

中里 宮崎県副知事

ディーン会長から日本では家族の絆が強いという発言がありまし
たが、高齢者の問題の場合、家族の絆だけでは決して解決できませ
ん。日本では一人暮らしの老人が増えています。高齢になるほど
要介護の状態になります。高齢者はできるだけ自分の家で面倒を見
てもらいたいと考え、最後を家で過ごしたいという希望が増えてい
ます。

しかし、家族の介護の負担は重いものがあり、家族以外の人、公
的な介護者や社会福祉協議会のヘルパーなどの支援が必要になりま
す。その際、ボランティアの力を生かす方法がないかということが
問題になります。アメリカではボランティアが発達しており、元気
な高齢者がボランティアに従事していると聞いていますが、その点
についてどう評価しているかお聞かせ下さい。

ウエルド マサチューセッツ州知事

ボランティアの面白いプログラムがあります。60～75歳の高齢者
が、ボランティアで子供の世話をしていますが、その見返りに、活
動した時間単位に、後に必要になったとき、自身がボランティアサ
ービスを受けることができます。例えば、10代の若者が食事の
世話をしたり、部屋の掃除をしたりしてくれます。これはボランテ
ィアサービスの時間の銀行というコンセプトです。中年の人は自分
の60～80歳台の老後のために時間を預託することができるのです。

中里 宮崎県副知事

それは誰が管理しているのですか。

ウエルド マサチューセッツ州知事

それは州政府によって管理されており、ロバートウイル・ジョ
ンソン基金という私的財団によって資金が提供されています。

中川 大阪府知事

大阪ではそういう運動が労働組合の関係者によって新たに作られつつあります。米国では国務省のマロット氏の夫人が、そのようなボランティア活動については、別の考え方をもちておられるようです。

日本ではこれまで米国の ADA 法に相当するものはありませんでした。しかし、大阪府で最初に福祉の「まちづくり条例」を制定しました。これが全国に普及し、新たに建物を建てる時には、障害者・高齢者に配慮すべきであるという法律が国で制定されました。

大阪府でも急速に高齢化社会に変わりつつあります。医療費の負担をどのようにするか、財源をどうするかが議論され、財源としての消費税の問題が議論されています。21 世紀には 4 人に 1 人が 65 歳以上の高齢者になるという事態を控えて、各県においては長期の計画を作っています。

また、今まで日本の美徳と考えられてきた考え方が変わりつつあります。アジア・西欧 11 か国の 18 歳から 24 歳の青年を対象にした昨年の調査によれば、両親の面倒を見る意思のある者が、日本の青年では僅か 23%なのに、米国の青年では 63%でした。住宅事情が異なるなどのハンディーも影響していると思いますが、これまでの通念とは逆転しています。

ディーン会長

退職年齢などについて興味ある討議が行われたと思います。次に重要なのは核家族の増加です。米国においても 50 年前には、家族は親と子だけで構成されてはいませんでした。近年急速に核家族化が進んできたのです。我が国ではなんとか家族を強化しようという試みを行ってきています。また、わが国でも、高齢者を公の施設に入れるのではなくて、家で面倒を見たいという願望があります。これを進めるための方法の一つのアイデアとして、高齢者の面倒を見ようという家庭に対して、それが財政的に可能になるよう、助成金を支払うという制度があります。拡大された家族を維持しようという日本での実験的な試みについてはいかがでしょうか。

小寺 群馬県知事

日本でも、高齢者を老人ホームに入れなくて、自宅で介護している場合、一定の補助金を自治体が出している例があります。また、住宅政策として、2世帯住宅、3世帯住宅に対して特別な補助金を出したり、特別な融資をしている例があります。

篠田 岐阜県副知事

岐阜県では、介護者の健康診断、人間ドックに要する経費を県の方で面倒見ようという制度を設けています。

ディーン会長

逆はまた真なりで、わが国では国民全員を対象とした健康保険システムを実現しようとしています。

中川 大阪府知事

高齢化問題の裏返しとして、少子化の問題があります。大阪では一組の新婚カップルから生まれる子供の数は1.4人です。少ない子供が大勢の高齢者を支えなければなりませんから、子供を社会保障の担い手になれるよう、たくましく育てることが必要だと考えています。最近では乳幼児の医療費の無料化を各県が進めています。子育てをしやすくする社会をつくるのが、高齢化社会にとって大切です。

(6) 共同声明

ディーン会長

中川知事の方で、共同声明のご提案の用意があると思いますのでよろしく申し上げます。

中川 大阪府知事

共同声明を提案（15頁参照）

ディーン会長

拍手でご確認願います。（拍手）

(7) 閉会挨拶

ディーン会長

では、鈴木会長から閉会の御挨拶をお願い致します。

鈴木会長

閉会にあたり一言ご挨拶申し上げます。

本日は、日米両国が当面する重要課題につきまして、終始熱心にご討議を賜り、お蔭をもちまして本会議が成功裡に閉会できましたことを心から感謝いたします。

本日のこの会議が、日米両国の県州レベルの行政の推進に、大いに役立つことはもちろんですが、日米間の相互理解と友好親善においても極めて有意義であったことを確信しております。

ここで、私はこの伝統ある会議を継続するため、第23回日米知事会議を来る1995年に日本で開催することをご提案申し上げ、その年に、私ども日本全国知事会が、米国知事会代表団を日本に正式にご招待申し上げる予定であることを表明させて頂きます。

最後に、貴知事会及び関係各位の私どもに寄せられた友情あふれるご厚意に対し、心からお礼を申し上げますとともに、本日、私どもの意思疎通のために大変見事な働きをしていただいた通訳の皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。

ディーン会長

日本の知事様方、遠路はるばるお越し頂き有難うございました。特に副知事さん方、有難うございました。私も昔は副知事でしたので、皆さんの陰のご苦勞は承知致しております。

高齢化の問題に対する日本の解決方法をお聞きするとともに、我々地方政府が直面している問題の共通性についても認識することができました。次回の会合を大変楽しみに致しております。

共 同 声 明

米国各州知事と日本の都道府県知事との相互訪問は、米国全国知事会と日本全国知事会との合意に基づいて1962年に始められ、以後今日まで日本と米国とで交互に実施されてきた。このような相互訪問を通じて、両国の知事は相互の理解を深めるとともに、文化や歴史についても理解を深めてきた。

この相互訪問事業の主たる内容は、日米知事会議の開催をはじめ、日本の都道府県及び米国各州の行政、産業、文化施設等の実地視察、日米両国要人との会見等であった。

日本全国知事会代表団は、米国全国知事会の招請を受け、11月14日から11月25日まで米国を訪問し、17日にはウエストバージニア州ホワイトサルファ・スプリングスにおいて開催された第22回日米知事会議に出席した。

この会議では、共通した課題である高齢者のニーズなど「社会福祉」について、両国知事は友好的な雰囲気の中で熱心な討議を行った。日米両国においては、歴史的、社会的な経緯から高齢者のニーズへの対応など社会福祉に関する考え方や諸制度が異なっているが、地域の住民が安心して健やかに暮すことができる社会を築くことが、地方行政を担当する各州の共通した課題であるという点で完全な意見の一致をみた。

日本全国知事会代表団は、連邦政府、連邦議会その他の指導者と会見した。更にウエストバージニア州、バージニア州、ユタ州及びハワイ州を訪問し、各州知事および住民と接する機会を与えられた。

われわれ両国知事は、日米知事会議の開催と相互訪問が両国民の相互理解と友好親善に大いに貢献し、また、世界の平和と福祉の増進に寄与するものであることを認識して、その継続と発展のために協力することを誓うものである。

1994年11月17日

米国、ホワイトサルファ・スプリングス

第22回日米知事会議

附 訪 米 視 察 日 程 等

1 訪米視察日程

11月14日(月)

場所：ワシントン ダレス空港到着 09：25 (ANA02)

(出迎え) 全米知事会、米国広報文化交流庁、日本大使館

東京都知事ワシントン ダレス空港到着 20：48 (UA66)

(出迎え) 全米知事会シェック事務総長、日本大使館

ホテル：The Willard

公式日程：

09：25 ワシントン ダレス空港着
11：00 ホテル着
12：00 昼食(ホテル内)
〔ゲスト〕 シルバーマン 米国対日通商代表次官補など
13：25 ホテル発
14：00 トーマス・ジェファーソン公立工科高校視察(バージニア州)
16：00 学校発
16：30 ホテル着
19：30 全米知事会主催ディナー(ルースクリス スターキハウス)
〔ゲスト〕 ウォルフ 日本・中国担当通商代表次官補 など
21：30 ホテル着

夫人プログラム：公式日程と同様

11月15日(火)

場所：ワシントン DC

ホテル：The Willard

公式日程：

08：00 朝食(ホテル2F ホルムズルーム)
09：10 ロビー集合、出発
09：30 国務省ブリーフィング
トーマス ハバード 国務次官補代理 東アジア・太平洋地域担当
ステファン エクトン 日本部長
10：35 国務省発

- 11：00 マックス ボーカス上院議員（民主党・モンタナ州選出）と会見
（ハート上院議員会館 511）（日米関係について）
- 11：45 議員会館発
- 12：30 栗山全権大使主催昼食会（ジャパン・イン）
- 13：45 昼食会場発
- 14：15 ホワイトハウス着
- 14：30 通商代表部ブリーフィング（ルーズベルトルーム）
アイラ ウォルフ 日本・中国担当通商代表次官補
- 15：15 ゴア副大統領表敬
- 15：30 財務省ブリーフィング
ローレンス サマーズ 国際問題担当財務次官
- 17：00 ホテル着
- 18：15 ホテル発
- 19：00 大島公使主催夕食会（ペキン グルメ イン）
- 21：30 ホテル着

夫人プログラム：（午前中自由行動、午後は公式日程と同様）

11月16日（水）

場所：ワシントン ナショナル空港発ウエストバージニア州チャール
ストーンへ

ホテル：The Greenbrier

公式日程：

- 07：00 朝食（ホテル 2F ホルムズルーム）
- 07：45 ナショナル空港へ出発
- 09：05 ナショナル空港発（USAIR 3179）ウエストバージニア州チャー
ルストーンへ
- 10：40 チャールストーン空港着
〔出迎え〕デービッド ハーデスティ氏（弁護士、州商工会議長）など
- 11：00 州庁・州議会着、歓迎セレモニー
ガストン ケーパートン 知事
- 11：15 ブリーフィング
- 11：45 ブリッジビュー小学校視察（ケーパートンウエストバージニア州知事同行）

- 13：00 ケーパートン知事・夫人主催昼食会（知事公邸）
- 14：15 州庁・議会、知事公邸など見学
- 15：30 ホワイトサルファスプリングスへ出発
- 17：30 ホテル着
- 19：00 ケーパートン知事・夫人、各州知事主催晩餐会

夫人プログラム：公式日程と同様

11月17日（木）

場所：ホワイト・サルファ・スプリングス、ウエストバージニア州

ホテル：The Greenbrier

公式日程：

- 07：00 朝食（ヘイズルーム）
- 12：00 第22回日米知事会議（ヘイズルーム）

〔出席者〕

日本側：鈴木俊一東京都知事（全国知事会会長）

佐藤栄佐久福島県知事

小寺弘之群馬県知事

中川和雄大阪府知事

篠田伸夫岐阜県副知事

中里清敏宮崎県副知事

砂子田隆全国知事会事務総長

米国側：ハワード ディーン バーモント州知事（全米知事会会長）

マイク ローリー ワシントン州知事

マイク リービット ユタ州知事

ガストン ケーパートン ウェストバージニア州知事

ウイリアム ウェルド マサチューセッツ州知事

ジム ガイ・タッカー アーカンソー州知事

エバン バーイ インディアナ州知事

ギャリー ジョンソン ニューメキシコ州次期知事

レイモンド シェツパク 全米知事会常務理事

[会議次第]

- 12 : 00 開会挨拶 (ディーン会長)
日本側知事・副知事紹介 (鈴木会長)
昼食・懇談
- 13 : 00 討議テーマについて発言 (ディーン会長)
〃 (鈴木知事)
フリーディスカッション
- 14 : 15 共同声明提案 (中川知事)
- 14 : 20 閉会挨拶 (鈴木知事)
〃 (ディーン会長)
- 14 : 30 知事会議閉会
- 17 : 30 ジョージ アレン バージニア州知事と会見 (バージニアルーム)
- 18 : 30 レセプション (クリスタルルーム)・ディナー (コモンウェルスルーム)
ホーリング交響楽団のコンサート

夫人プログラム :

- 09 : 00 グリーンブライア史跡見学
- 12 : 00 昼食 (コロラド州知事夫人等と会食) (ドレイパーズレストラン)
- 18 : 30 レセプション・ディナー

11月18日 (金)

場所 : ホワイトサルファ・スプリングスからバージニア州リッチモンドへ

ホテル : Omni Richmond Hotel

公式日程 :

- 07 : 00 朝食 (ホテル内)
- 08 : 00 グリーンブライアホテル発
- 12 : 00 オムニリッチモンドホテル着
- 12 : 30 ウェイン スターリング州経済開発部長主催昼食会
(ダウントウンクラブ)
- 14 : 15 州庁・州議会へ
- 15 : 00 ブリーフィング
ウィリアム ボッシャー 州公教育長官
ディビッド カブララ 州住宅・地域開発部長

ジェリー キルゴア 州防犯部長

ジェフ ブラウン 州自立促進委員会部長

17：30 ホテル着
18：45 ホテル発
19：00 ロバート スクンダ 州商務貿易長官主催カクテル・ディナー
(コモンウェルスクラブ・ジェファーソンルーム)
21：00 ホテル着

11月19日(土)

場所：リッチモンド、ウイリアムズバーグ

ホテル：Omni Richmond Hotel

公式日程：

08：00 朝食(ホテル内ロアノークルーム)
09：00 ウイリアムズバーグへ出発
10：00 // 着
13：00 昼食(キングアームズ・タバーン)
15：00 ウイリアムズバーグ出発
18：00 ホテル着
18：45 ホテル発
19：00 カクテル・ディナー(ブルアンドベア クラブ)
メトロポリタン・リッチモンド経済開発友好協会、バージ
ニア・日本協会主催
21：30 ホテル着

11月20日(日)

場所：リッチモンドからユタ州ソルトレイクシティへ

ホテル：Little America

バージニア州内日程：

09：00 朝食(ホテル内)
10：30 ホテル発
11：45 モンティチェロ視察
13：00 // 出発

- 13 : 30 昼食 (ボアズヘッドイン)
- 15 : 15 ワシントン ダレス空港へ出発
- 17 : 15 空港着
- 18 : 00 ダレス空港発 (DL249) ユタ州ソルトレイクシティへ

ユタ州内日程 :

- 20 : 53 ソルトレイクシティ空港着
- 21 : 30 ホテル着

11月21日 (月)

場所 : ユタ州ソルトレイクシティ

ホテル : Little America Hotel

公式日程 :

- 07 : 30 朝食 (1F ダイニング)
- 09 : 00 ロビー集合、出発
- 09 : 15 モルモン教福祉センター視察
- 10 : 30 モルモン教チャーチセンター視察
- 12 : 30 昼食 (チャーチセンター内)
 - メイフィールド州地域・経済開発局長
 - メイビー州経済開発局国際部長
- 13 : 30 モルモン教博物館視察
- 15 : 00 エバンス&サザランド社視察
- 16 : 45 同社発、ホテルへ
- 19 : 00 オレーン ウォーカー ユタ州副知事主催ディナー (ホテル内)

11月22日 (火)

場所 : ユタ州ソルトレイクシティ

公式日程 :

- 07 : 00 朝食 (ホテル内)
- 09 : 00 ホテル発
- 09 : 30 州議会議事堂視察
- 10 : 30 空港着
- 11 : 40 ソルトレイクシティ空港発 (DL1579) ハワイ州ホノルルへ

ハワイ州内日程

ホテル：Waikiki Parc Hotel

19：30 ホノルル空港着

20：00 ホテル着

11月23日（水）

場所：ハワイ州ホノルル

ホテル：Waikiki Parc Hotel

公式日程：

08：30 朝食（ホテル内）

10：30 ホテル発

11：00 ジョン ワイヘエ ハワイ州知事表敬訪問

12：00 州庁発

12：30 ハワイ日本文化センター視察

13：30 ホテル着、自由行動

11月24日（木）

場所：ハワイ州ホノルル

ホテル：チェックアウト

08：30 朝食

09：30 ホテル発

11：00 ホノルル空港発（JL071）成田へ

11月25日（金）

14：30 成田空港着

2 米国内視察米国側同行者

全米知事会

Charles Cochran (Director/Administraion and Finance)
Victoria Becker (Senior Policy Analyst)
Jan Dunlavey (Program Coordinator)

通 訳 等

Ms. Yuki Henninger
Ms. Yoko Mitchell
Ms. Emy Bruce (tourescort)

3 米国州地図

写真あり

4 全国知事会訪米代表団訪問各州の概要

平成6年10月 全国知事会

州名	知事	面積・人口 (1990年)	地勢・気候	州都名等	入植 連邦への加入等
ウエストバージニア州 米大陸中東部の州	ガストン ケーパートン 54歳、民主党 1992年知事再任 1988年知事就任	[面積] 63,000km ² [人口] 1,793,000人	アパラチア山脈、アレゲニー台地からなり、気候は内陸性の湿潤温暖気候	州都 チャールストン (人口 64,000人) 黒人比率は5%以下。 アパラチア炭田の石炭は今日も全米有数。	連邦加入 1863年 (35番目) 1861年(独立戦争時)バージニア州西部の40のカウンティが連邦政府脱退に反対してバージニア州から独立。
バージニア州 米大陸東岸中央部の州	ジョージ F. アレン 42歳、共和党 1993年知事就任	[面積] 106,000km ² [人口] 6,200,000人	州西部にアパラチア山脈があり、一方州東部は低い海岸地帯となって太平洋に面している。 平均気温 14.3℃ 年降水量 1,082mm	州都 リッチモンド市 (人口 220,000人) リッチモンドは南北戦争中南部連合の首都となったこともある。また、今日もタバコの集散・加工の中心地。	入植 1607年 連邦加入 1788年 (10番目) 独立13州の一つ
ユタ州 米大陸西部の州	マイケル O. リービット 43歳、共和党 1993年知事就任	[面積] 220,000km ² [人口] 1,460,000人	平均1,500mの高原に多数の小山脈が走り河川沿い以外はほとんど砂漠。 降水量は冬期山嶺の降雪以外極めて少ない。夏期は日夜の気温差大。	州都 ソルトレイク市 (人口 160,000人) 州民の約70%がモルモン教徒	入植 1848年 連邦加入 1896年 (45番目) スペイン、メキシコの統治を経て1848年米国領となる。
ハワイ州 太平洋の中央やや東寄り オアフ、ハワイ、マウイ、 カウアイ島を中心とする 大小の群島からなる	ジョン D. ワイヘエ 48歳、民主党 1990年知事再任 1986年知事就任	[面積] 16,750km ² [人口] 1,110,000人	ハワイ群島は火山活動により生じた島嶼。キラウエア、マウナケア等の活火山あり。 気温は夏32℃程度、冬期でも15℃以下にはほとんどならず、雨期の11月～4月の間も1日中降り続くことは少ない。	州都 ホノルル (人口 330,000人) 住民はヨーロッパ系(約1/3)、日系(約1/4)、ポリネシア系(約1/5)、フィリピン系など多様。	連邦加入 1959年 (50番目) 1778年イギリスのクックが発見。1893年ハワイ王朝の廃止。1894年ハワイ共和国発足。1898年ハワイ・米国合併決議案が米国議会で可決。

5 都道府県と米国州市との姉妹提携状況

都道府県名	米国州・市	提携年月日
東京都	ニューヨーク市	1960. 2. 29
山梨県	アイオワ州	1960. 3. 14
兵庫県	ワシントン州	1963. 10. 22
長野県	ミズーリ州	1965. 3. 29
鹿児島県	ジョージア州	1966. 11. 28
滋賀県	ミシガン州	1968. 11. 14
神奈川県	メリーランド州	1981. 4. 23
福岡県	ハワイ州	1981. 9. 26
熊本県	モンタナ州	1982. 7. 22
沖縄県	ハワイ州	1985. 6. 14
京都府	オクラホマ州	1985. 9. 20
山形県	コロラボ州	1986. 12. 2
北海道	マサチューセッツ州	1990. 2. 7
千葉県	ウイスコンシン州	1990. 5. 21
福井県	ニュー・ジャージー州	1990. 10. 12
埼玉県	オハイオ州	1990. 10. 22
富山県	オレゴン州	1991. 10. 19
(大阪府)	カリフォルニア州	1994. 11. 15)

17 都道府県（大阪府を含まず）

国際親善都市連盟「日本の国際姉妹都市一覧」（1994. 4. 1 現在）